

■■航空機で自転車を輸送する際の注意事項■■

■航空機で自転車を輸送する際の注意事項がございますので、マイ自転車をお持ち頂く方はご一読ください。

航空機は貨物室の容量に限りがあります。
参加選手の移動が集中した場合や航空機の大きさ等により貨物室の容量を超えた場合はご搭乗便に自転車を搭載できない可能性があります。
この場合は別便での輸送となりますのでご注意ください。

※状況によっては大会に間に合わない可能性があるため、早い時期にご自宅から宿泊先までの事前託送をおすすめします。

航空機で輸送する場合は以下の点をご注意ください。

- 参加選手の移動が集中した場合は空港の手荷物カウンターが大変混雑します。手続きに時間がかかることがあるため、自転車等はお早めにお預けください。
- 輸送中は揺れや振動等がありますので、自転車は損傷防止のためハードケースに梱包するか十分な緩衝材を用いて梱包した上でお預けください。
- 自転車を含む手荷物の合計重量が各航空会社で定める無料手荷物許容量を超えた場合は超手荷物料金が必要となります。
無料手荷物許容量など手荷物のルールに関する詳細は各航空会社のホームページでご確認ください。
- 工具などの自転車修理用キットは機内にお持ち込みできないことがあるため事前に手荷物としてお預けください。パンク修理用エアポンベ（スプレー式）やパンク修理用接着剤（液体式）は危険物法令・規則により手荷物として輸送することができませんのでご注意ください。